

インターネットメディアは、言語コミュニケーションになくってはならないものになりました。本プロジェクトでは、まず、インターネットメディアを使った情報処理をどのように人間が行っているかを、代表者自身が、『認知科学』という科目の授業の中で説明しました。さらに、インターネットメディアがどのような特性を持っているかを、具体的には以下の内容を、プロジェクトメンバーが外部講師となり、分かりやすく『認知科学』受講学生に説明しました。

● インターネットメディアのしくみ

ソーシャルメディアのしくみ

メディアの種類による情報の伝わり方の違い

インターネットメディアの情報倫理

インターネットに出した情報は消えない

ネットの炎上の実例 匿名個人はどのように特定されるか

コミュニティガイドライン（炎上の予防線）

流行仕掛人（コミュニティのハブ）、マスコミが情報を拡散させる

相手の感情を判断する手がかりは言葉か画像・動画か

書かないよりは書いた方が良い 有益な情報発信の条件

● 不特定多数に向けてどのように文章を書くか？

不特定多数でも狙っているターゲットに届く文章を書く

ブランド化

機能ベネフィット、情緒ベネフィット

講義内容を実践に活かせるよう、実際に地域メディア『おたるくらし』フェイスブックページに掲載する記事（文章と写真）を一人4つずつ、作ってもらいました。